

～日本各地で国際的活動を行う皆様を支援するメールマガジン～



グローバル通信6月号

外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら

グローバル外交ネット
外務省と地方が連携する

第88号

平成 28年5月31日

6月号の内容

1. 外務省と地方自治体等の連携
◇ [本格焼酎及び泡盛のプロモーションイベントの開催](#)
(日本酒造組合中央会)
◇ [「福岡プロモーション」の開催](#)
(福岡県)
◇ [錦の美—日本の伝統的織物を発信—](#)
(日本ブランド発信事業 専門家 龍村周)
◇ [ショートフィルム\(短編映画\)で日本の魅力を紹介～モロッコ～](#)
(日本ブランド発信事業 専門家 東野正剛)
2. パートナー募集
◇ [「ユーモアの首都」ブルガリア・ガブヴォ市](#)
(在ブルガリア日本国大使館)
3. 地方連携推進室から
◇ [地域の魅力発信セミナー\(第20回 地方視察ツアー\)](#)
(地方連携推進室)
◇ [『外交』Vol.37の発売!](#)
(国内広報室)

～本格焼酎及び泡盛のプロモーションイベント～ (日本酒造組合中央会)



日本酒と同じく日本の國酒である本格焼酎をよりアピールし、その認知度アップと正しい商品知識の普及を目的として、在ニューヨーク日本国総領事館公邸において、プロモーションイベントが開催されました。 [詳細](#)

～地域の魅力発信セミナー～ (地方連携推進室)



外務省と横須賀市との共催で駐日外交団から19カ国計29名の参加を得て、横須賀市の研究施設や観光施設、歴史施設等への視察ツアーを実施しました。 [詳細](#)

～編集後記～

😊 横須賀市視察ツアーの様子は当日夕方のNHKニュースでも報道されました！(K)

😊 梅雨入りしたら、長年離れていたピアノを再開しようと思います。(Y)

※記事は下線部をクリックすると
ご覧いただけます。



グローバル通信に是非ご登録下さい。登録は[こちら](#)をクリック！
※次回配信は、6月30日の予定です。
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

在ニューヨーク 日本国総領事公邸における同総領事館との共催による 本格焼酎及び泡盛のプロモーションイベントの開催について

平成28年3月
日本酒造組合中央会

日本酒の輸出は世界で伸び続け米国はその最大の輸出国です。一方、本格焼酎について、米国は中国に次いで第2位の輸出国ではありますが、その量は日本酒の10分の1でしかありません。この度、日本酒と同じく日本の國酒である本格焼酎をよりアピールし、その認知度アップと正しい商品知識の普及を目的として、世界最大の情報発信地でありトレンドを生む都市である米国・ニューヨークにおいて本格焼酎セミナーと試飲会を開催しました。

3月4日(金)在 NY 領事公邸にて、鹿児島県から6社、宮崎県から1社、熊本県から1社、長崎県から1社、沖縄県から1社の合計10社がそれぞれブースを構え、各社3銘柄を参加者に振る舞いました。

金曜日の夕刻より開始、日本酒に比べて知名度が低い焼酎でのイベントであるということで参加者が集まるか、という懸念もありましたが、予想以上に反響が良く、80名の予定数を優に超える120名以上の参加希望がありました。また他国の在 NY 領事館、大使館への招致やフード・ビバレッジ専門のメディアやライターを中心とした招致を行い、期待以上の情報発信において有力な招待客が集まりました。

冒頭に高橋礼一郎大使よりご挨拶を頂き、続いて日本酒造組合中央会 濱田由紀雄理事より挨拶を行いました。参加蔵元10社の紹介の後、焼酎アドバイザーの資格を有し、臨床疫学の大学教授でもあるステファン・ライマン氏を講師に迎え、本格焼酎と泡盛に関する地理的・文化的背景の紹介と韓国産 SOJU や日本酒との違い、製造方法とその特質など、とても興味深い講義を満場の中行っていました。セミナー会場は満席で参加者は大変興味深く聞き入っておられました。





その後、場所を2階の試飲会会場に移し、各社のブースにて自慢の焼酎を楽しんで頂きました。各蔵元はお湯割り、オンザロック、前割りなど、いろいろな飲み方による焼酎の楽しみ方を紹介し、意見交換を行いました。



焼酎の特徴である「食中酒としての素晴らしさ」をアピールするため、料理にも注力しました。公邸料理人の神谷シェフは純和風を、レストラン「The Crimson Sparrow」のマッカーシーオーナーシェフはフュージョン風の焼酎に合う料理を、各5品ずつ、計10品をご用意して頂きました。



日本酒造組合中央会では、今後も日本酒に続き、日本の「クールなスピリッツ」として本格焼酎と泡盛を紹介し情報発信する機会を設け、焼酎の「コアファン」の増殖を狙いたいと考えます。

最後になりましたが、この度の「焼酎ナイト」の開催、実施において最大限のご協力をいただいた在 NY 日本国総領事館、関係各社の皆様に心からお礼を申し上げます。

地域の魅力発信セミナー(第20回駐日外交団の地方視察ツアー)

平成28年5月23日、外務省と横須賀市との共催により、駐日外交団から19か国計29名が参加を得て、横須賀市の研究施設や観光施設、歴史施設等への視察を実施しました。

平成 28年5月
地方連携推進室

海洋研究開発機構(JAMSTEC)を訪問した外交団は、有人潜水調査船「しんかい6500」に加えて、今春完成したばかりの海底広域研究船「かいめい」の船内を見学しました。最新鋭の設備と航行の安全を祈念する神棚を備えたコックピットでは、船長席に座り記念撮影をする外交団もいました。



海底広域研究船
「かいめい」前にて

観音崎京急ホテルで行われたレセプションでは、海軍カレーや三浦野菜などの地域の食材を活かした料理に加え、横須賀市長自ら挨拶を行い、外交団を歓迎しました。横須賀市立総合高校の生徒3人が、制服に同市の名物「スカジャン」を羽織り、英語で市の魅力のPRを行ったほか、市に関するクイズを出して会場を盛り上げました。スカジャンが現在海外セレブに愛されていることや、ガリバーが観音崎に上陸していたことなど、意外な事実で驚く外交団の姿も見られました。



横須賀総合高校の
高校生によるプレゼンテーション

くりはま花の国では、フラワートレインと呼ばれる蒸気機関型のバスに乗り、巨大なゴジラの滑り台のあるアスレチック広場まで上った後に、ちょうど見頃を迎えた色とりどりのポピー園を歩きました。

横須賀港に停泊する米国海軍及び海上自衛隊の艦船を見学するクルーズ「YOKOSUKA軍港めぐり」では、心地よい海風を受けながら日米両国の艦船を見られる貴重な機会に、外交団はしきりにシャッターを切っていました。



YOKOSUKA
軍港めぐりにて

記念艦「三笠」では、旧日本海軍戦艦・三笠にまつわる映像を鑑賞した後、外交団は二手に分かれ、艦の設備や調度品、当時の歴史背景について説明を受けました。

最後に訪れたよこすかポートマーケットでは、地元の牛乳や果物を使用したジェラートがふるまわれ、一日の疲れを癒やしました。また、地元の海の幸や海軍カレーをはじめとする横須賀土産を買い込む外交団の姿も見られました。

共催の自治体からは「普段会うことのできない大使をはじめとする外交団の皆さんに横須賀市の魅力を直接PRできてよい機会だった」との感謝をいただきました。

外交団からは「日本は地域により多様性のある国であり、今回横須賀を訪問できたことは有意義だった」「ホスピタリティの高さが際立った」との声がありました。

ツアーの様子は当日夕方のNHKニュースでも報道されました。

【プログラム】

- 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
- 意見交換会(観音崎京急ホテル)
- くりはま花の国
- YOKOSUKA軍港めぐり
- 記念艦「三笠」
- よこすかポートマーケット